



川口の教育



【 川口市歯と口の健康フェスティバル 令和4年6月5日（日）リリア 】

第637号

【目次】

指導の手引き GIGAスクール端末の更なる活用に向けて
川口市教育局学校教育部指導課指導主事 村越 崇 ……(2)

私の教育実践

目指す学校像を具現化するためのPDCAサイクルを生み出す生活目標の取組
川口市立慈林小学校 教諭 加藤 英樹 ……(3)

教育ルポ ……(4)~(6)

題 字 川口市教育委員会教育長 茂 呂 修 平

6 月号

—令和4年—

編集・発行 川口市教育委員会

G I G Aスクール端末の更なる活用に向けて

川口市教育局学校教育部指導課指導主事 村越 崇

1 はじめに

令和3年1月文部科学省の中央審議会で示された「令和の日本型学校教育」では、「全ての子供たちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』を実現するためにはICTは必要不可欠である」とされています。現在、各学校ではICTを積極的に活用した学習を実践していただいています。本市では今後更なるICTを活用した教育の推進を図るべく6月より市内の小・中学校全校に学習支援システム（ミライシード）を導入します。このミライシードを使用することで今まで以上に「個別最適な学び」や「協働的な学び」の実現が可能となります。今回は、そのミライシードの概要と各校でのG I G Aスクール端末の実践事例を紹介します。

2 ミライシードの概要

●ミライシードとは⇒G I G Aスクール構想の1人1台端末環境に最適な「オールインワンソフト」です。下記のソフトウェアを中心に基礎学力の向上から主体的・対話的で深い学びの支援まで、先生方をフルサポートします。

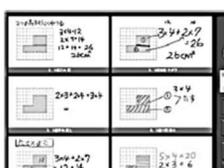
個別学習 ドリル	 ドリルパーク	知識の定着や理解を深めるため、教科書や問題特性に合わせた解答パターンを複数出題。先生は子供たちの学習状況をリアルタイムに把握し、指導に活かすことができます。
---------------------	---	--

- 基礎基本の定着から、思考力・判断力・表現力の育成まで、自動採点などのデジタルの機能を搭載した個別学習ドリル。
- 対応学年は小1～中3まで、教科は、小学校（国・算・社・理）・中学校（国・社・数・理・英）を収録。
- AI機能を活用（算数・数学のみ）した自動出題が可能。

学習状況確認 繰り返しを習慣化し、学習意欲を高める機能	漢字ドリル 一文字の書き取り 読み書きドリル
◆先生向け機能	ベーシックドリル 基礎基本の定着
	パワーアップドリル 思考判断表現のスキル向上

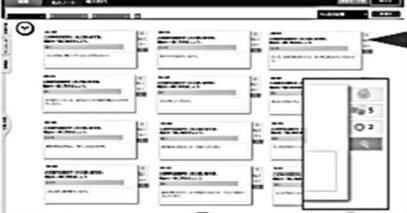
授業支援 ソフト	 オクリンク	シンプルな機能と直感的な操作性で圧倒的な「使いやすさ」を実現。他者の考えに触れながら、自分の思考を深め、考えの道筋を立てて表現をする力を養います。
---------------------	--	---

- 児童生徒の学習活動の状況をリアルタイムで確認できる「Liveモニタリング」機能を搭載。児童生徒が作成した作品を提出でき、教師や児童生徒の視点で比較や評価を行うことが可能。
- 児童生徒の調べ学習や単元の終わりのまとめ（発表の時間）などに活用することが可能。

● 提出BOX	● LIVEモニタリング
	

協働学習 ソフト	 ムーブノート	自身の意見を瞬時にクラス全体に共有し、友達の意見を取り入れながら、意見を見直して自身の考えを更に深めることができる全員参加型の協働学習支援ソフトです。
---------------------	---	---

- 個人の意見を瞬時にクラス全体に共有。他者の意見を取り入れながら自分の意見を見直し、考えをさらに深めて新しい気づき・発見を生み出す、全員参加の授業が実現可能。
- 学校の枠を超えてワークシートなどを配信することで、異なる学校に通う子供同士が意見交流する学習が実現可能。

	みんなの広場 クラス全体の考えを共有し、他者の意見を見る事で多面的に意見を捉える力が育成できます。
--	---

3 市内小中学校におけるG I G Aスクール端末の活用事例



学習課題についてホワイトボード機能を活用し、グループで協働学習。



黒板の代わりに大型TVを2台使用。教師の指示と学習活動を分けて使用しています。



授業の板書をミライシードのオクリンクで共有し、自宅学習での復習に活かしています。



かけ算の九九をミライシードのドリルパークを活用し自主学習に取り組んでいます。

4 おわりに

「全ての子供たちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』を実現」するために大切なことは、今までの先生方の実践にICT機器をどう組み合わせることが出来るかを考え、日常で継続的に実践することです。今後も、川口の子供たちのために、G I G Aスクール端末の更なる活用をよろしく願います。



【ミライシード支援サイト】

目指す学校像を具現化するためのPDCAサイクルを生み出す生活目標の取組

川口市立慈林小学校 教諭 加藤 英樹

1 はじめに



本校の目指す学校像は「あいさついっぱい、げんきいっぱい、やさしさいっぱい、学びいっぱいの慈林小」である。この学校像はキャッチフレーズとして児童にも浸透している。これを受けて本校の生徒指導目標は、「基本的な生活習慣を確立し（あいさつ）、自主的で（学び）、協力的な態度（やさしさ）を養い、心豊かな児童を育成する」と設定されている。私は本校で生徒指導主任として5年目を迎える。その中で、生徒指導目標を達成し、本校の目指す学校像を具現化するために行ってきたことについて生活目標の取組を中心に記述していく。

2 前提条件：生徒指導目標達成につながる生活目標の設定

生徒指導目標を達成するためには、生活目標は生徒指導目標を細分化して1年間の中で計画的、段階的に設定する達成目標でなくてはならない。そのため、1年間の生活目標は前年度のうちに計画し、学校共通の具体目標をひと月ごとに設定するなどすることが多い。しかし、共通の具体目標を設定した際、学年・学級ごとに抱えている課題がそれぞれ異なるという問題が生じる。そのような場合、設定された目標は実態に合わない「お題目」となってしまうかねない。

そこで本校では、まず生徒指導目標を「基本的な生活習慣の確立」「好ましい人間関係の育成」「自発的な行動力の育成」の3つに細分化し、指導の重点とした。次に、この3つの重点を学期ごとに大目標として設定し、課題や実態に合わせて具体化された目標や取組を各学年・学級ごとに設定することとした。このことにより生徒指導目標につながる大枠を押さえつつ、実態に合った具体目標の設定を行う条件が整えられる。

3 PDCA1：各学年・学級（教師の働きかけ）の取組

この目標設定の肝となるのが、教員側の取組への認識の差が表れないことである。そのために、年度当初の職員会議で生活目標の意義や取り組み方について共通確認を行っている。また、毎月末の生徒指導委員会で学年間の情報交換と翌月の具体目標の方向性について検討を行い、各学年に伝えるよう徹底している。このことにより学校全体で適切な目標設定を推進することができる（PLAN1）。各学級では、学年で確認した内容について児童と話し合い、課題を挙げて約束事や気を付けること、重点的に取り組む期間などを具体的に 決め、短冊に書く（PLAN2）。そして、朝の会



などに繰り返し意識付けを行い、児童の行動を見取り、帰りの会などで定期的な振り返りを行う（DO⇔CHECK1）。また、教師が学年会において、

生活目標の取組についての成果と課題を学年で評価する（CHECK2）。月末の生徒指導委員会では、各学年の成果と課題を共有し、翌月の方向性について検討する時間を設定している【ADJUST】。この一連の取組でPDCAサイクルを回し、段階的に生徒指導目標達成に向かうことができている。

4 PDCA2：生活委員会（児童主体）の取組

生活目標を達成するための児童主体の取組として生活委員会の働きかけを紹介する。

本校の目指す学校像の一つ「あいさついっぱい」は本校の特色である。そのために、年間を通して生活目標に位置づけ、段階的にあいさつの質的向上を図っている。この生活目標を受けて、各学期の始め等必要なときに生活委員会を中心にあいさつ運動を行っている。あいさつ運動を行う際には、毎回「目指すあいさつの姿（目標設定）」や「働きかけの仕方（方法）」を児童が主体となって話し合い（PLAN）、話し合った目標や方法を踏まえ3日間のあいさつ運動を行う（DO）。運動後は毎日振り返りを行い、働きかけ方の修正や改善を行っている（CHECK・【ADJUST】）。また、ある月の委員会の時間には、1学期の生活目標である「学校のきまり」について、現在の本校の課題を話し合い、生活委員としての具体的な取組を検討し、その後実践と振り返りを行った。

このように児童主体の取組の中にも、生活目標をきっかけにPDCAサイクルが生まれている。こうした一連の取組により児童自身の主体性が高まり、相乗効果で本校の特色「あいさつ」が年々活発になってきている。

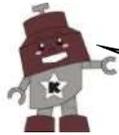


5 おわりに

ここ数年、本校では教師・児童ともに学校全体であいさつに対する意識と姿勢が高まってきており、外部の方にも好評をいただいている。これは生活目標の取組により教師側・児童側のPDCAサイクルを回し、実践と経験を積み重ねた一つの成果であり、まさに目指す学校像「あいさついっぱい」の具現化に近づいていると言える。

この取組の土台にはやはり教師間の共通理解・共通行動がある。本校のあいさつの向上自体は小さな変化かもしれない。しかし、教師同士、それと児童が同じ方向を向き、みんなで進んだという事実は大きな一歩と感じる。この体制があれば目指す学校像の具現化に向けて、より一層の指導の充実が図れると確信している。今後も学校全体で一枚岩となれるよう、生徒指導主任として教員間の共通確認や情報の共有・方向性を検討し、よりよい生徒指導を行うことを通して、児童の力を高めていきたい。

教育ルポ①



川口市マスコット「きゅぼらん」

様々な体験を通して、気づきを深めていますね。
活動中のいきいきとした表情が輝いています！

各学校（園）の取組の様子

【川口市立南平幼稚園】



年長すみれ組 6月1日 グリーンセンター遠足



グリーンセンター
ごっこで、
ローラー滑り台
をつくりました。

翌日みんな
絵を描きました。



年中さくら組 砂場で遊んでいます

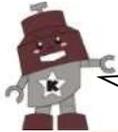


砂と水で、サラサラ
やドロドロの
感触を楽しんで
います。

年少たんぽぽ組

園庭では、スクーター
遊びをしています。





お世話になった先生方に感謝の気持ちを伝える離任式、お別れはさみしいですが、子供たちも先生方も再会できて嬉しそうですね！

教育ルポ②

各学校の取組の様子

【川口市立新郷東小学校】



バルーンリリース

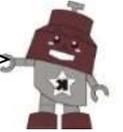


離任式



教育ルポ③

5月より市内中学校・高等学校において、各種大会が始まりました。自分の力を信じて、目標に向かって努力する姿は大変立派です！ファイト！



「第68回 全日本中学校通信陸上競技大会埼玉県大会川口市予選会」

期日：令和4年5月23日（月）24日（火） 場所：青木町公園総合運動場陸上競技場



「令和4年度 川口市中学・高校水泳記録会」

期日：令和4年6月10日（金） 場所：青木町公園総合運動場プール



中堅教諭等資質向上研修会

期日：令和4年5月31日（火） 場所：スキップシティ

